

「市民参画に係わる市民座談会」活動報告書

平成24年3月

はじめに

私が朝霞市の市政に関わりを持つようになったきっかけは知人の誘いであった。

2005年、基地跡地の利用方法を話し合う懇談会メンバーが公募され、知人から「参加してみても」と声を掛けられ、応募したところ運良くメンバーに選出された。応募した動機は、50代半ばになり、定年後を見据え、地域にソフトランディングできればいいなとの単純な考えからであった。

この懇談会からは多くの人との出逢いが生まれ、信頼できる仲間もできた。初めて経験する市や県、国などとの協議、要請、請願などは新鮮であり、課題をどのように進めるか、仲間と熱い論議を繰り返した。仲間には自然環境に詳しい人、行政に明るい人、政策に強い人などがおり、大変刺激を受けた。この人たちに囲まれていたからこそ、自分自身も切磋琢磨できたと思っている。人との出逢いは財産です。家の中に閉じこもってはこの出逢いは始まらない。

私も懇談会に参加するまでは会社と家を往復するだけのサラリーマンで市政などには関心がなかった。ヒョんなことから公募メンバーに選出され、市政と関わるようになった。市民と市政との関わりは一人ひとり関心事や立場などが違い、多種多様である。いろんなキッカケから、市政と関わるができる。

座談会は最初、公募市民8人でスタートした。年度末の3月には15人に増えた。自治会やNPOなどで多くの市民が朝霞を良くしたいと活動している。いろいろな立場で活動している方、関心のある方の参加を心より歓迎します。ぜひ、多くの市民の皆さんと住みたい朝霞のまちづくりの礎づくりを一緒にしていきましょう。

1 座談会について

座談会について、当初は市民参画に係る企画・運営委員として立ち上げ、平成24年1月21日に「市民参画に係る講演会」を企画・開催しました。

名称については、市民が自ら企画・運営し、主体的にまちづくりを進めていくために、その手法を学び、実践し、広めていく中心的な役割を担う会であることから、「市民参画に係わる市民座談会」（以下「座談会」。）としました。

（1）総合振興計画の位置付け

市では、基本構想に将来像を「水と緑に満ちた やすらぎと生きがいのあるまち朝霞」として掲げ、その実現のための基本方針を「パートナーシップによるまちづくり」とし、後期基本計画「VII章 構想推進のために」において「市民参画」として位置付け施策を実施しています。

（2）座談会の目的

市の「パートナーシップによるまちづくり」に基づいて、市民同士で自由闊達に意見交換や発言が出来る場を設けることにより、市民参画の機会を充実させ、その機運を高めることを目的として立ち上げられました。

（3）メンバー

公募市民 15人（平成24年3月8日までに参加した人数）

市職員 4人（政策企画室2人、地域づくり支援課2人）

※メンバーは、随時募集しています。

（4）活動

平成23年度は、市民参画に係る講演会を開催するため、誰を講師としてお招きするのかなど講演会の内容や進め方について、全て私たち市民の手づくりで企画・運営しました。詳細については次項以降に記載しています。

2 平成23年度座談会活動概要

(1) 座談会の開催状況

	日時、場所	会議内容
第1回 12人	平成23年 8月26日(金) 午後7時から午後9時まで 仲町市民センター	・自己紹介 ・市の考えを説明
第2回 8人	9月16日(金) 午後7時から午後9時まで コミュニティセンター	・講演会を開催することに決定
第3回 9人	10月 8日(土) 午後6時半から午後8時半まで 市役所 第6会議室	・講師・福嶋浩彦氏に選定 ・I部、II部制で行うことに決定 ・今後の流れについて確認
第4回 6人	10月28日(金) 午後7時から午後9時まで 仲町市民センター	・講演会用チラシ、ポスター検討 ・呼びかけ方法を検討(12月3日NPOまつりにて呼びかけ)
第5回 8人	11月16日(水) 午後7時から午後9時まで コミュニティセンター	・講演会用チラシ、ポスター最終確認
—	12月 3日(土)	・NPOまつりにて呼びかけ(チラシ配布)
—	12月15日(木)	・公共施設にポスター掲示依頼(56施設)
第6回 9人	12月15日(木) 午後7時から午後9時まで コミュニティセンター	・講演会までの流れを確認 ・呼びかけの強化
第7回 8人	平成24年 1月13日(金) 午後7時から午後9時まで コミュニティセンター	・呼びかけ状況 ・講演会当日の最終確認
— 5人	1月16日(月) 午後6時から午後7時まで 朝霞駅南口	・呼びかけ(チラシ配り)
—	1月21日(土)	・講演会 講師：福嶋浩彦氏(現消費者庁長官、前我孫子市長)
第8回 11人	2月 9日(木) 午後7時から午後9時まで コミュニティセンター	・講演会反省 ・平成23年度の活動報告について ・今後(平成24年度)の活動について
第9回 17人	3月 8日(木) 午後7時から午後9時まで 市役所 第5会議室	・平成23年度の活動報告について ・今後(平成24年度)の活動について

(2) 講演会について

- ①テ ー マ 朝霞市市民参画に係る講演会
私もあなたも楽しくまちづくりを！！～市民参画を語る～
- ②日 時 平成24年1月21日（土）午後2時から午後4時50分まで
- ③場 所 朝霞市役所別館5階 大会議室
- ④内 容 I部 福嶋 浩彦氏（現消費者庁長官、前我孫子市長）講演
II部 福嶋 浩彦氏への質問とその回答
- ⑤参加者 98人
- ⑥アンケート結果
 - 回収率 62.24%（61人／98人）
 - 内 容 よく理解できた46人、ある程度理解できた13人、難しかった1人
無回答1人
 - 感 想 とても良かった40人、良かった19人、普通2人
 - 市民参画 積極的に進めるべき30人、どちらかといえば進めるべき17人、
分からない2人、無回答3人
 - 市民活動 参加している34人、参加していない20人、無回答7人
 - 座 談 会 是非参加したい11人、参加したい21人、どちらとも言えない18人、
あまり参加したくない2人、参加したくない1人、その他3人、
無回答5人

3 座談会の今後の活動（平成24年度以降）について

市民参画に関する講演会（講座）を開催するための座談会の活動期間は平成24年3月31日まででした。平成24年度は以下の目的を達成するため、さらに座談会のメンバーを増やしていきます。

（1）座談会の基本的な考え方（理念）

「私もあなたも楽しくまちづくりを！」

「自分たちのまちは自分たちでつくろう！」

（2）目的

- ①座談会で「市民参画」について学び、“朝霞らしい”市民参画の形を考える。
- ②市民がまちづくりに主体的に参画し、それが活かされていくための土台をつくる。
- ③市民と行政とが自由に話し合いができる環境をつくる。
- ④上記③の仕組みづくりを考え、その仕組みを動かしていく。

（3）活動内容 ※現時点での内容であり、座談会で話し合いながら結論を出していく。

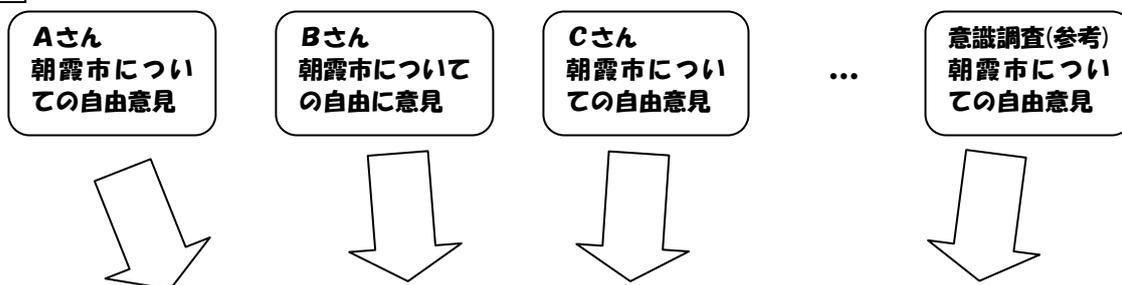
- ①座談会を月1回程度開催する。
- ②勉強会について
 - ・「市民協働指針」の検証
→市民と行政とがどのように絡み合っていけば理想なのか…
 - ・市民参画についてブレインストーミング方式課題点を洗い出す。
→市民参画と絡めて課題点や改善点を導き出す。なお、後期基本計画策定の際の「市民意識調査※」も参考にする。
 - ・他市事例を研究する。
 - ・講師を招いての勉強会を実施する。
- ③上記②を分野別に分類し、検証する。
- ④全ての分野のうち2～3つをモデルとして抽出する。
- ⑤上記④で抽出したモデルについて、具体的な市民参画の方法を検証していく。
- ⑥それぞれのモデルについて、中心的な役割をする「キーマン」を見つける。
- ⑦モデル結果を検証したうえで、それを分野ごとに水平展開していく。

※「市民意識調査」とは、第4次朝霞市総合振興計画後期基本計画に策定にあたり、朝霞市のイメージや市の全般的な取組み、まちづくりへの市民の参加など、市内居住の18歳以上の男女を対象にアンケートを実施し、平成22年7月に調査結果をまとめたものです。この調査結果は、市ホームページに掲載されています。

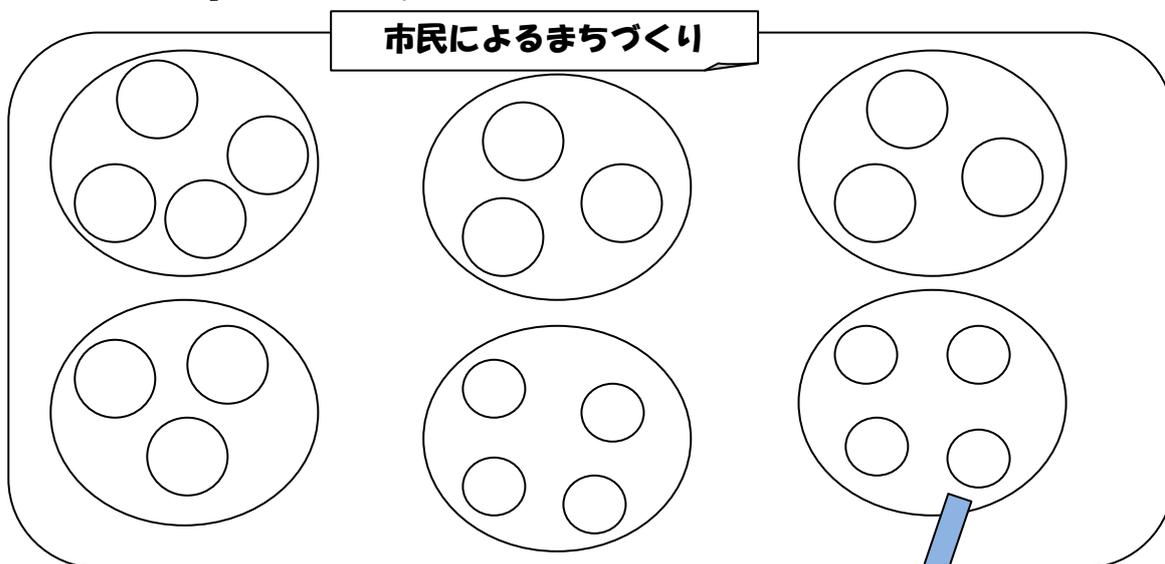
<http://www.city.asaka.saitama.jp/yokoso/plan/pdf/h22ishikicyousa.pdf>

座談会活動のイメージ図

第1段階 自由意見を収集（フレーンストーミング方式）

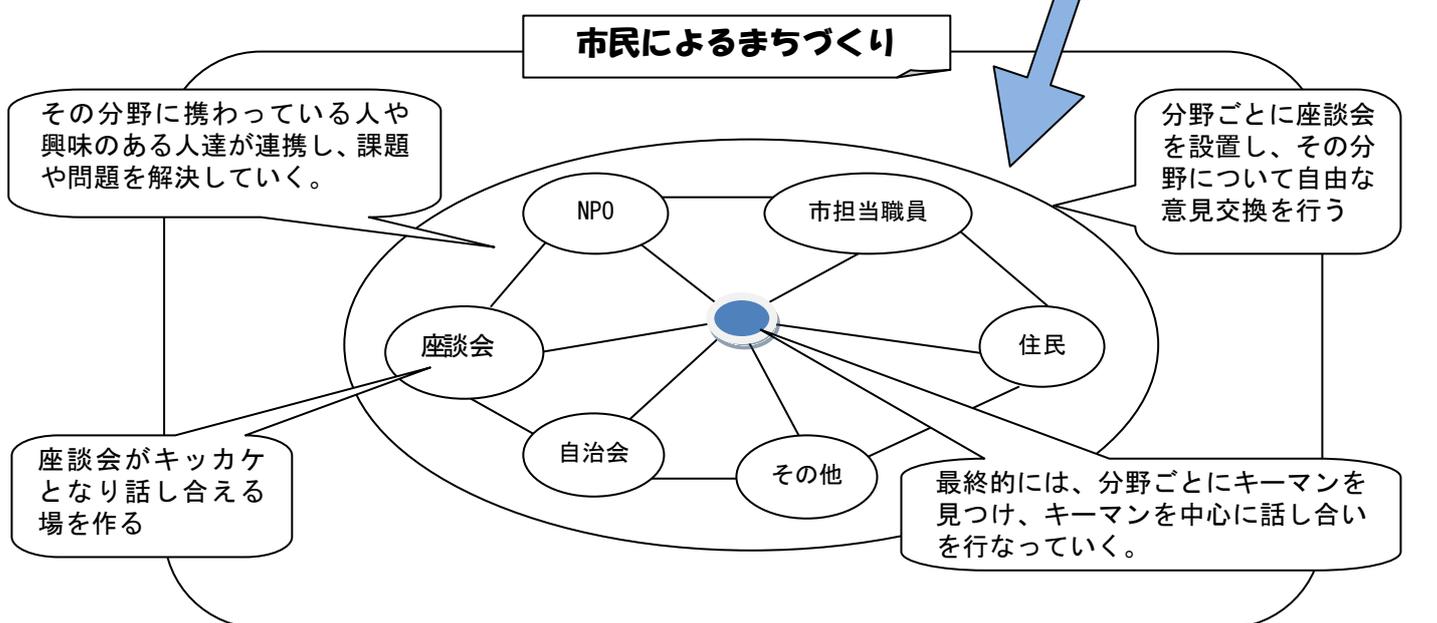


第2段階 大網別、分野別に分類 ※「○」はそれぞれの分野をイメージしたもの (例) 福祉分野であれば、子育て、高齢者、障害者…などが大きな円の中の一番小さい「○」になります。



第3段階 分野別による勉強会とキーマンの発掘

(注) ● は、分野別キーマン



4 座談会メンバーからひとこと

コメント
市民参加をテーマにした座談会がスタートしてどのくらいの時間が経過したのだろう。なにか あっという間 だったようにも思える。 それだけ充実した時間をすごしたのだろう。 これからも、皆でワイワイガヤガヤ楽しい また充実した時間にしたいものだ。
友達が・・・内間木は『朝霞の陸の孤島』だという言葉を口にしてしています！ 少しでも人が行ききをとっています。・・・ そのような言葉が出ないような街に！
『若々しい活力ある朝霞の街づくりとユニークな市政を目指す』提言をしたい
市民意識調査の自由意見は貴重な提言も多い。市民参画で実現に向け、行政と協働で進めていきましょう。 基地跡地整備を発端に朝霞市は良くも悪くも大きく変わると思う。訪れて楽しい街、住みたい街、自慢できる街にしたいと思います。
一部の方の代表ではなく、常に朝霞の一市民の目線での市民参画を進展させ、きっちりと根付かせることがこれからの課題と思います。 従来市政に無関心な私のような者でも協力出来る事があれば嬉しいですね。
「朝霞市民で良かったね！」ということをお願いながら活動しています。朝霞の街づくりに参画するために座談会で多くの方に出会うことを期待しています。
朝霞の街を、近隣とは一味違う、全国区並みのすばらしい街づくりを目指したい。あれやこれやではなく、まずは1-2点、結果が目に見えるテーマや課題に集中して、挑戦したと思います。

おわりに

東日本大震災から1年が過ぎ、これを契機に「絆」の大切さがあらためて認識された。仲間、市民、行政との絆を強くし、一人ひとりができる事から力をあわせて進めることが大切であると大震災が教えてくれている。

今年度は、福嶋浩彦氏（現消費者長官・前我孫子市長）の講演会を開催し、市民参画の大切さを学び、その進め方や考え方を勉強してきた。また、いろいろな視点からの参画と街づくりの夢など話し合ってきた。朝霞の街づくりに多くの人が参画し、住みよい朝霞にするための知恵と汗を出してゆくことが大切であるとの認識を共有できた。

来年度は、より多くの人参加を得て、ぜひ具体的な成果が出せるように、一步を踏み出してゆきたい。

座談会メンバー（平成24年3月8日現在）

岩垣 清文（三原）	尾池 富美子（溝沼）	大野 良夫（膝折町）
小嶋 敏子（根岸台）	栄田 栄翁（膝折町）	坂本 和哉（岡）
佐野 隆（岡）	白石 清夫（宮戸）	中川 岑夫（三原）
藤井 由美子（朝志ヶ丘）	増井 清志（三原）	宮崎 美枝（仲町）
山辺 俊夫（本町）	山本 長志郎（宮戸）	米野 雅之（岡）

（50音順）